

平成 26 年度第 1 回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議録 要旨

日時：平成 26 年 8 月 21 日（木）18：00～19：35

場所：第 3 分庁舎 講堂

出席者：別紙（資料 7）のとおり（豊田氏が欠席）

（事務局）丸山障害者福祉課長、村田課長補佐、杉内係長、久木田職員、庄崎職員

1 議題

（1）平成 25 年度 障害者福祉計画推進状況報告書（案）（以下、報告書）の審議について

（委員） 読む人にとって分かりやすくするために、鎌倉市の特徴について載せてあるとよいと思うが、今までは載せていなかったのか？

（事務局） 他市との比較は載せていない。

（委員） ABC という数量的な評価ではなく、当事者の方の満足度をモニタリングして載せる、という意味で発言したのではないか。

（委員） 当事者の方の満足度をどのような評価方法・基準にするかが難しいと思う。

（事務局） その評価方法については毎年検討を重ねてきており、昨年からアンケートを実施して、その集計結果を報告書へ掲載したという経緯がある。

（委員） 数量的な評価と当事者の方の満足度を並列表記すればよいのでは。

（委員） 評価というのは、客観的な数字を用いて評価するしかないのではないかなと思う。

（委員） 【資料編】の作成で工夫しているところは？

（事務局） 前段に数量的評価、最後の部分にアンケート実施後の集計結果を載せるような構成にしている。「平成 25 年度に事業を実施してきた中での課題」という項目は今回から新たに設けたので、ここで補足できればと思う。

（委員） 評価については、提供する側と受ける側が同じ評価になる訳ではないので難しいと思う。歯科医師会では、各施設へ伺って診察を行う活動をしているが、「受診者の数が減る」というのはかかりつけ医を持ったという認識になるで、良くなったとも評価できるが、受信者側では必ずしもそう受け取っている訳ではないと思う。ABC の評価だけで事業の方向性を判断してはよくないと思う。

アンケートの目標数はあるのか？

（事務局） 障害者だけでなく関連する人も含めて、平成 25 年度は 123 人だった。昨年は限られた期限の中でアンケートを実施したので少なかったが、今年は施設や団体にご協力頂いて増やしていきたい。

- (委員) 是非そのようにしてほしい。
- (委員) ABC の評価について、あくまで数値による判断であるとの説明書きをした方が良いと思う。
- (委員) アンケートについて、今年から「課題」の項目を設けたのであれば、それを今年のアンケートに反映すればよいのでは。自由筆記の欄を設けるのはどうか。
- (事務局) 自由筆記というのは考え方に対する意見を収集することになるので、基本計画改定の時には含めていきたいと考えている。
- (委員) 視覚障害者向けのアンケートはどうするのか？
- (事務局) SP コード等を検討しているところだが、予算との関係もあるので、意見交換会などの機会を活用していきたいと考えている。
- (委員) 可能な限り、全ての障害者が回答できるアンケートにするよう工夫してほしい。
- (委員) アンケートの属性は集計するのか？
- (事務局) 事業の評価ごとには集計しないが、報告書の後段で、アンケートを回答した人という括りで集計結果を載せる予定。

(2) 第4期障害福祉サービス計画(案)骨子の審議について

- (事務局) 第3期の計画と同じスタイルで第4期を作成していく予定。具体的な数値等は、県の方針や目標数値が決まってから設定していく。
- (委員) 計画のスタイルとしては、障害者の方が理解しやすいものにしていきたい。国・県・市の考えは整合性が求められるので、今の段階で内容に関して意見するのは難しいと思うが、意見があれば9月1日(木)までに資料10をFAX、メール等で提出してほしい。
- (事務局) 県の方針を情報収集してなるべく早く内容を揃えて提出したいと思う。資料5について、社協に登録されている団体との意見交換会(3障害を3回に分けて)を9月に予定しているのでご協力頂きたい。

2 その他

(1) 平成26年度第2回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会の日程について

- (事務局) 資料6のとおり、11月下旬の木曜日に開催したいと考えており、平成25年度推進状況報告書の確定と第4期障害福祉サービス計画(案)の審議を行う予定。

(2) イベント等の開催について

- (委員) 平成26年9月11日(木)に「要支援者の避難 パート2」を開催するのでご承知おき願いたい。(資料11)